

平成 24 年度地球温暖化防止のための「福島議定書」事業

最優秀賞受賞校／団体の取組一覧

■学校版 最優秀賞校の取組み

学校名	受賞歴	特徴のある取組み
川俣町立川俣幼稚園		<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンカーテン（朝顔・ゴーヤ等）を作り、室温の上昇を抑制 ○使わない部屋の消灯や水の出っぱなしのないよう園児と話し合いを実施し、節電・節水の意識付け ○牛乳パックを洗う時は、バケツの溜め水を利用し、園庭の水まきに再利用 ○プール遊びの水も、園庭や花壇の水まきに再利用 ○牛乳パックや紙の切れ端を、園児の制作物に再利用 ○印刷物の裏面使用により、ゴミの減量化を徹底
西郷村立羽太小学校		<ul style="list-style-type: none"> ○上級生により構成される環境ボランティア委員会を中心に、全校で節電・節水の取組を実施 ○リサイクル活動等、生徒を中心とした節電・節水以外の積極的な活動（牛乳パック、アルミ缶、古紙、ダンボール、裏紙の回収や再利用） ○地球温暖化問題をはじめとする環境教育の徹底（尾瀬の自然体験、水力発電所・風力発電所の見学、村内環境フォーラムへの参加等）
いわき市立好間中学校	H21 入賞 H22 入賞	<ul style="list-style-type: none"> ○牛乳パックや雑巾の濯ぎには、水道は使用せずバケツの溜め水を利用 ○省エネルギー教育の実施（電気量のデータ測定（毎日）、昨年度比較等） ○各クラスでゴミの分別を徹底し、日常生活における意識付け ○プルタブやペットボトルキャップの回収、封筒や古紙の再利用 ○エコチェックシートの活用（回収率 100%） ○生ゴミや落ち葉による堆肥作り
福島県立聾学校会津分校		<ul style="list-style-type: none"> ○職員会や保護者会、児童集会等で福島議定書の取組について理解を図り、学校だけでなく家庭での意識付けにも注力 ○教室のこまめな電気消灯や、手洗い時の水量調節 ○児童、職員、家庭が一丸となりエコキャップ運動を実施 ○環境教育の一環として、授業で牛乳パックを再利用したハガキ作り
専門学校 WiZ 国際情報工科大学校	H20 優秀賞 H21 最優秀賞 H22 優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の節電・節水啓発（節電シール（照明スイッチ）、節水シール（蛇口）、室温表示シール（エアコン操作部分）の貼付等） ○校内施設の節電対策の徹底（自動販売機の照明 OFF、トイレ照明の減灯、LED 電球の導入等） ○定期的な地域清掃活動や猪苗代湖清掃活動への参加 ○環境教育の実施（再生エネルギー実習、屋上緑化） ○職員の自転車通勤推進、生徒・職員への扇子推進

■事業所版 最優秀賞受賞団体の取組み

部門名	団体名	受賞歴	特徴のある取組み
オフィス・店舗等部門	アルパイン技研株式会社	H21 優秀賞 H22 最優秀賞 H23 最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ○ピーク時間帯の会議原則開催禁止、開催の場合は消灯 ○関連会社連携にて、缶飲料自販機を全て省エネタイプへ変更 ○県内初となる室外機取り付け型の空調制御システム導入 ○独自に作成したエコアクションガイドを配付し、個人に携帯させることによる啓発 ○家庭での取組みを進めるエコチェックシートへの全社員参加（100%）
製造業等部門	アルパインテクノ株式会社	H20 入賞 H21 優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ○環境委員会、管理部による電力使用状況の日々計測及び監視（見える化）とパトロールの実施 ○ビニール間仕切り、屋根散水、グリーンカーテンの実施（エアコン効率向上） ○管理部による水道使用状況の日々計測及び監視 ○廃棄物の再分別徹底により、リユース化及び有価物への転換
運輸・設備業等部門	磐城通運株式会社	H20 優秀賞 H21 入賞 H22 最優秀賞 H23 最優秀賞	<ul style="list-style-type: none"> ○エアコンは全館集中管理システムを活用して管理 ○家庭での節電を徹底するために「エコライフのすすめ!!」のポスターを作成し、各家庭に掲示 ○トイレ等の流水量調整 ○マイカー通勤者に対して、「エコドライブ」通勤チェックシートを配布 ○グリーン経営証の取得

※ 取組み内容の多い団体等は一部抜粋としています。